

シンクロ実験！

郡 宏(Hiroshi Kori) お茶の水女子大学准教授・JSTさきがけ研究者二期生

リズムとリズムが出会うと、それらはまる意志を持つ生き物のようにペースを調整し合い、小さなリズムの集まりから一体となった大きなリズムが生まれます。これは同期現象(シンクロ)と呼ばれます(写真)。心拍や、毎日の寝起きをコントロールする体内時計、また、パーキンソン病の震えなど、身の回りのリズムはシンクロニゼーションによって生まれることがよくあります。休憩時間に、この世界で見られるびっくりするようなシンクロの映像をいくつか紹介します。そして、メトロノームをつかった実験を実際に体験していただきます。どうぞ期待！！

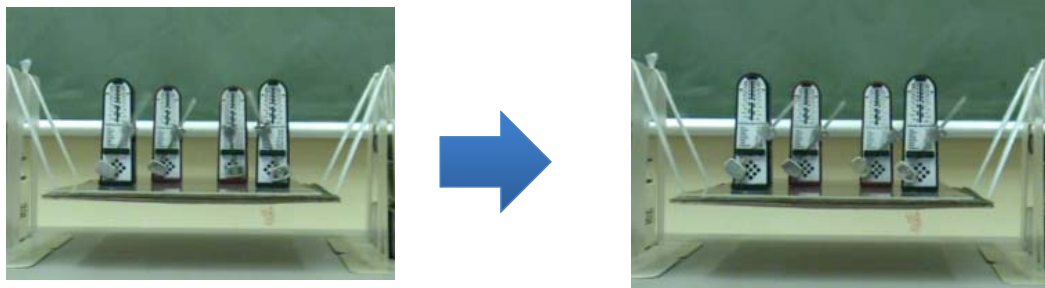


写真:「橋」の上のメトロノーム。

これらは振動数が少しだけ異なる4つのメトロノームである。机においてもバラバラにリズムを刻むだけであるが、「橋」の上の置くと揺れを通して相互作用する。するとリズムを調整し合い、やがてほぼぴったりとタイミングがあう状態におちつく。これがシンクロ！！

**休憩時間(14:40～15:00)に、
デモを行ないます。**

ぜひ、ご覧ください！